

やまなしの県有林

FSC® 森林管理認証に基づくオフセット・クレジットの取得と活用



やまなし県有林のとりくみ

■ やまなし県有林

国際的なFSC® 森林管理認証に基づく環境に配慮した管理経営を行っています。

■ オフセット・クレジットの取得・活用

間伐による二酸化炭素の吸収量をクレジット化し、その売却による収益を県有林の森林整備に活用しています。



責任ある森林管理
のマーク

山梨県森林環境部

やまなし県有林で取得したオフセット・クレジット (J-VER)

■ プロジェクトの種類

森林経営活動によるCO₂吸収量の増大 (間伐促進型プロジェクト)

■ 対象森林

2007~2009年度にかけて、間伐を実施した約2,900haのカラマツ、ヒノキなどの人工林

■ 吸収量

- ・対象： 対象森林における2008~2012年度のCO₂吸収量
- ・クレジット： 25,383 t-CO₂
- ・発行量 (対象森林においてモニタリング検証済みの2008.4~2010.12の吸収量)

■ クレジットの特徴

- ・国際的な森林認証制度である「FSC森林管理認証」に基づき、全国ではじめて発行されたオフセット・クレジット (J-VER)
- ・森林吸収による J-VER プロジェクトの中で最大のクレジット発行量
- ・富士山や南アルプスといった豊かな自然環境を有する県有林のクレジット

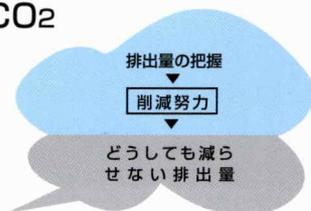


やまなしの県有林
J-クレジット

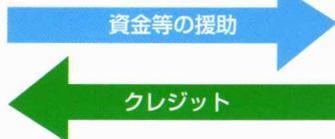
カーボン・オフセットとは？

カーボン・オフセットとは、日常生活や経済活動で避けることができないCO₂等の温室効果ガスの排出について、どうしても削減できない量の全部または一部を他の場所での排出削減・吸収量でオフセット (埋め合わせ) することを言います。

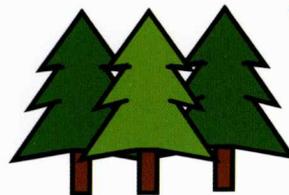
+CO₂



埋め合わせ
(オフセット)



-CO₂



■ クレジットから得られた資金は、持続可能な森づくりに使われます



県有林管理計画・森林経営計画
を策定し、国土の保全や水源かん養等、森林が持つ公益的機能を確保しつつ、森林資源の持続的な供給を図っています。



森林整備
植栽・下刈・除伐・間伐・枝打ち・主伐・路網整備等を行い適切に管理を行った森林はCO₂吸収量が増大します。



生物多様性の保全
林業地帯と富士山や南アルプス等貴重な動植物を有する保護地域とに分けて管理しており豊かな自然環境を保全します。

■ 県有林の歴史

明治末期、本県に相次いで発生した大水害は、県民の生活を大変苦しいものにしました。明治天皇は、この窮地をご存知になり、明治44年に県下の御料地のほとんどを県の復興に役立てるよう本県に御下賜されました。これが県土の約3分の1を占める県有林の基となっており、一般には「恩賜林(おんしりん)」の名前で呼ばれています。

これらの県有林は、県土保全と木材生産の二つを柱に管理・経営されています。



明治40年の大水害による甲府盆地の被災状況



現在の県有林(南アルプス市:南伊奈ヶ湖)



山梨県HP
恩賜林について

■ FSC® 認証面積全国1位!



FSC 認証林(富士山を望む)



2024年FSC年次監査の様子

2003年4月に公有林としては全国に先駆けて、国際的な森林認証制度である「FSC 認証(FM 認証)」を取得しました。

県では、FSCが定める基準に基づき、環境・社会・経済の調和した持続可能な森林管理を行っています。

【認証の概要】

認証面積 144,000ha(貸地等を除く全ての県有林)

認証発行日 2003年4月10日(5年ごとに更新)

○ FSC(森林管理協議会:本部ドイツ)とは 最高水準の規格

国際的に共通した、10の原則70の基準、約200の指標を定め、独立した第三者機関が審査・認証を実施しています。

FSCの規格は、森林認証制度の中で世界で一番高い水準を維持し、認証林は適切に管理されていることが最大限保証されています。

世界一普及している木材認証制度

FSC認証材は、100を超えるマーケットに届けられており、木材認証制度の中で世界で一番多くの認証を発行しています。

確実に森林を守る

FSCは、世界中の森林認証制度の中で最も高い水準で自然林の保全や絶滅危惧種の保護を推進しています。



FSC ジャパン HP

FSC 認証材が消費者に届くまで

立木販売
(山梨県)

伐採
※(COC 認証取得業者)

加工
※(COC 認証取得業者)

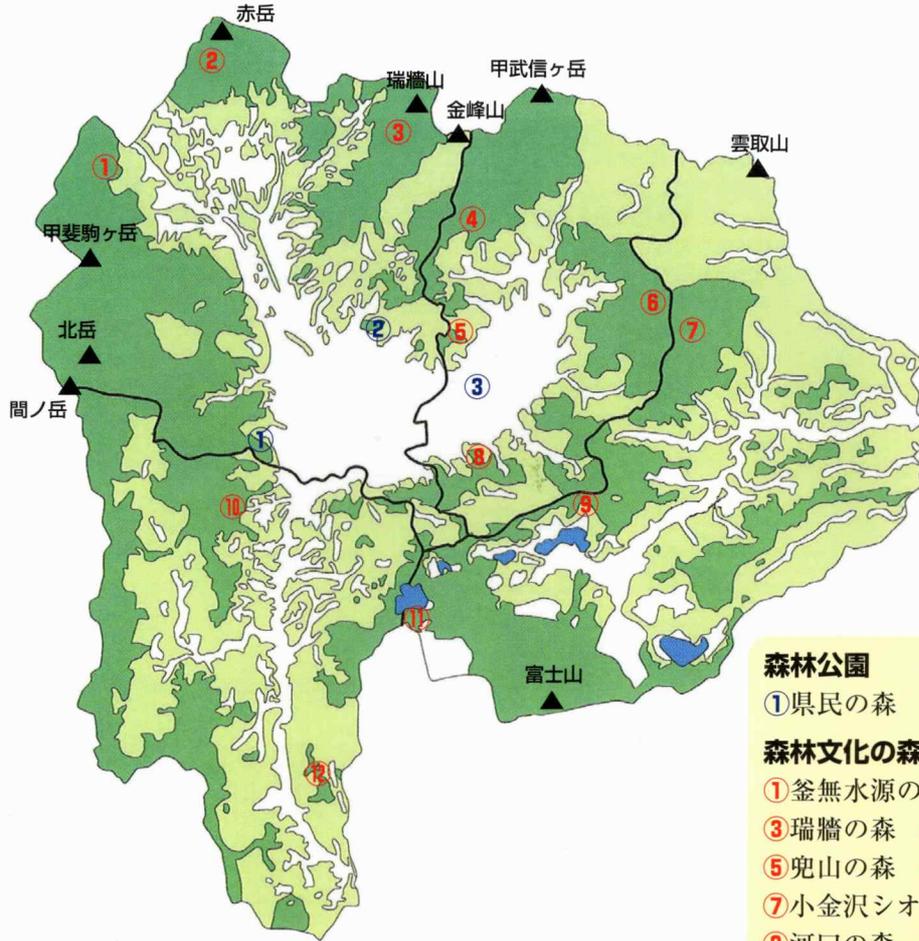
消費者

※CoC 認証

森林管理認証(=FM 認証)を取得した森林から産出された木材を用いて生産された製品が、適切に管理・加工・流通していることを証明する制度



■ 県有林の広がり状況



- 県有林
- 民有林他
- 富士五湖

森林公園

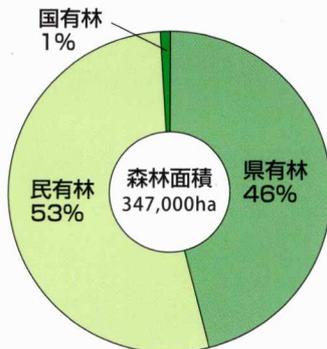
- ① 県民の森
- ② 武田の杜
- ③ 金川の森

森林文化の森

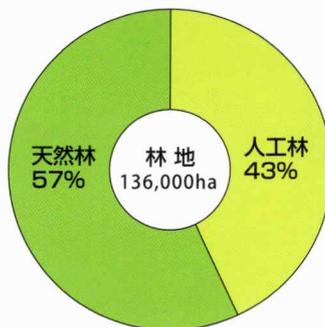
- ① 釜無水源の森
- ② 八ヶ岳の森
- ③ 瑞牆の森
- ④ 乙女高原の森
- ⑤ 兜山の森
- ⑥ 大菩薩の森
- ⑦ 小金沢シオジの森
- ⑧ 稲山ケヤキの森
- ⑨ 河口の森
- ⑩ 十谷の森
- ⑪ 本栖の森
- ⑫ 思親山の森

山梨県は県土の78%を森林が占める森林県です。県有林は、このうち46%、15万8千ヘクタールで、実に県土の35%を占めています。この県有林は、標高200メートルから3,400メートルにわたっているため、暖帯林から寒帯林までの多様な植生を見ることができます。

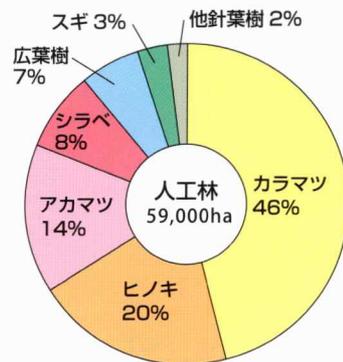
【森林面積】



【天然林・人工林の面積割合】



【人工林の樹種別面積】



構成比は小数点以下第1位を四捨五入しているため、合計して100%にならない場合がある。

2025年発行

山梨県森林環境部県有林課

山梨県甲府市丸の内一丁目6番1号

電話 055(223)1623 FAX 055(223)1636

県産材利用促進



この印刷紙は、森林環境保護・水質保全等の支援に役立てられます。



ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C131518